



### 「愛飲酒多飲」と共に40年

後藤 光瞬さん

ごとう こうしゅんさん/昭和17年、青森県生まれ/83歳/達美在住

# 新 知 故 温

## # 561

後藤光瞬さんは、昭和17年に青森県に生まれました。幼少期に家族の仕事の関係で北海道に渡り、遠軽町や丸瀬布で育ちます。中学校卒業後はさまざまな仕事を経験し、結婚後は家族を支えながら暮らしを築いてきました。その後、昭和40年代に津別町へ移り住み、ロマンス製菓株式会社に勤務。約16年間働きました。40代前半、家族の事情をきっかけに退職。今後の生き方を考える中で、「自分で何かをやってみたい」という思いから飲食の道を選びます。若い頃に少しだけ経験のあった接客の仕事に頼りに、夫婦でスナックを開業しました。

当初は「長くは続かないのでは」といった声もありましたが、次第に常連客が増え、店は地域の憩いの場として親しまれるようになります。店名の「愛飲酒多飲」は、当店で店名を考えた際に後藤さんが思いつき、名付けました。印象的な名前は話題を呼び、訪れた人の記憶に残る存在でした。最盛期には一晩で100人以上が訪れ、町職員や地元企業の人々、観光客などが行き交う、まちの交流の場となっていました。特に奥様の手作りのお通しは評判で、多くの人に喜ばれていました。しかし近年は、コロナ禍等の影響もあり、飲食現場も大

きく変化しました。予約中心となり、「そろそろ区切りをつけたい」と閉店を決意します。店は形態を変えて次の世代へと引き継がれる予定です。現在は店を離れ、趣味のゴルフなどを楽しみながら穏やかな日々を過ごしています。「健康でいらればそれでいい」と語る表情には、長年店を続けてきた充実感がにじみます。40年にわたり、まちの夜を照らしてきた「愛飲酒多飲」。そこに集った人々の記憶とともに、その灯りはこれからも地域の中で灯火となります。

来月は  
**地みり協力の  
思いつき日記**  
になります。

### 暮らしを支える 税 確定申告 間違いは

確定申告の内容で誤りがあった場合、それを訂正することができます。

【税額を多く申告していたとき】  
「更正の請求書」を提出して、正しい税額への訂正を求めることができます。この手続きは、所得税確定申告提出期限から5年以内です。

【税額を少なく申告していたとき】  
「修正申告書」を提出して正しい税額に修正することになります。修正申告によって新たに納める税額には、過少申告加算税及び延滞税が賦課される場合があります。また税務署の調査を受けたあとで修正申告をしたり、税務署から税額の更正を受けた場合には、自主的に修正申告をした場合に比べ高い加算税率を適用されることがあります。

【確定申告を忘れていたとき】  
確定申告を忘れていたときは直ちに申告をして下さい。確定申告期限後の申告には、無申告加算税及び延滞税が賦課される場合があります。

【確定申告の必要がなくても】  
年金収入（400万円以下）のみの方は、確定申告の義務はありませんが、住民税申告をした方がいい場合があります。また無収入の方でも住民税申告をしない場合、国民健康保険税等が高くなるケースもあります。申告が必要かわからない場合は、お気軽に税務収納係までご相談ください。

# 青春

## くろずあつぱ

昨年、JAつべつに入組し、金融共済課で働く石澤峻生さん。自動車や生命、建物などの共済業務を担当しています。七飯町出身で、地元の高校を卒業後、網走刑務所に勤務。刑務官として約9年間、受刑者の指導や施設内の管理業務に携わってきました。結婚を機に今後の働き方を見つめ直す中で、オホーツクでの生活を通じて関心を持っていた農業分野に携わりたいと考えるようになり、縁あってJAつ

べつを紹介され「地域に根ざした仕事ができることに魅力を感じ、就職を決めました」と話します。「覚えることは多いですが、職員の皆さんが優しく、働きやすい環境です。人に恵まれていると感じています」と笑顔を見せます。休日はプロ野球観戦が楽しみです。北海道日本ハムファイターズの試合を観に球場へ足を運ぶことも。サウナ巡りや道内旅行も趣味で、「サウナで整って、リフレッシュしています」と笑顔で話してくれました。



### 人に恵まれて新たなスタート

石澤 峻生 さん

いしざわ りょうせいさん/平成7年、七飯町生まれ/JAつべつ 勤務

## 私たちの生活を支える社会福祉法人 津別町社会福祉協議会特集！

現在インターネットで公開中！ 町のHPをご覧ください



住み慣れた街で、幸せに暮らし続けるために人々が支え合う「福祉」。今回のタウンニュースつべつでは、津別町でその役割を担う最前線「社協」こと「津別町社会福祉協議会」に密着。相談事業をはじめ、訪問介護、生活支援などの現場担当者に直撃インタビュー。給食配達や見守り活動、ボランティアによる交流、サロンなど、管内でも注目を集める数々の活動をご紹介します。誰もが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らせる地域づくりとは何か。その想いと実践に迫ります。



この番組は、津別町の今を映像で定期的に発信（月1回）することで、町民の町づくりへの参加促進、移住・定住の促進、ふるさと納税の拡大を図り、町づくりの記録を残すことで、10年後20年後の町民への財産とします。完成した映像は、町のWebサイトや道東テレビ、YouTube等で公開いたします。また、さんさん館、津別病院、道の駅あいおい、北見信用金庫津別支店、網走信用金庫津別支店に設置された「デジタルサイネージ（映像看板）」でも視聴することができます。＊タウンニュースつべつは、ふるさと納税の寄附金により制作しています。

毎月末日 更新 《取材希望企業・飲食店・生産者募集!! 詳しくは役場住民企画課まで》

問い合わせ先 住民企画課 企画係 14-1 番窓口 ☎ 77 - 8374